



最終成果発表会 ・修了式

【第8回】最終成果発表会・修了式
日時：2019年11月24日（日）14時～17時
会場：なは市民協働プラザ2階 会議室①
参加：受講生 28名、サポメン 3名、
那覇人Cheers 9名、一般参加者 37名



第8回講座は、**最終成果発表会・修了式**です。約半年間頑張ってきた**活動や学びの成果を存分に発表**していただきました！大学院で取り組んできた内容を説明した後は、各チームのアクションプランを発表。そのまま修了式を行い、学長である**城間幹子市長から修了証を授与**されました。

スタート前からスライドショー、会場設営、調整、リハーサル...と準備バッチリ◎
いつもとは違い、すこーしだけ緊張感の漂う中、いよいよ開場です！

大学院についての説明

まずは事務局の宮城から、なは市民協働大学院2019の取り組みについて説明です。
今年度は「じっくり、しっかり、ちゃっかり」をテーマに、現状把握から課題の設定、そしてそれを楽しく解決するための企画の手法、また

企画を実現するために行政、各関係団体から相談やアドバイスを受け繋がるなど、盛りだくさんの内容でした。



これまでの講座の中、様々なことが思い出されます。

興味のある地域ごとに分かれてのチーム編成。結局、チーム移動は少なく、みなさん初志貫徹で地域にコミットされていました。

企画づくりの大きなヒントとともに、地域に関わる様々な人の役割についてわかりやすく解説してくれた永田さんによる公開講座。参加できなかった人は残念ながら、非常に学びの多い会でした。

そして思い出の、逃げられない企画づくり強化合宿...。
皆さんじっくり取り組んでいただき、集中する場面もありつつ、力

レー対決やフィールドワークは
ちゃっかり楽しむ！

真面目に朝4時まで頑張っていたチ
ームや、ほかのチームと助け合い、励
まし合う場面もありましたね。

第7回の企画のブラッシュアップで
は、那覇市の各関連部署や地域の
キーパーソンなども交え、非常に具
体的な対話が生まれていました。
様々な立場の人が集い、地域のこと
を一緒に考えていた、あの場こそ、
本当に「協働」だと感じました。

最終成果発表会

さて！いよいよ最終成果発表です！
今回は、持ち時間8分。発表形式は
自由で、5分のQ&A、最後に1分間の
チアーズからのコメントをいただく
という流れです。

※各チームの企画概要・発表の様子
は、後日ブログにアップします。こ
の記事では、簡単な紹介のみ掲載し
ています。

まずは首里チームから。

入場の掛け声、そしてお揃いのコス
チューム、気合い入ってます！

【近所でWAKUWAKU/首里チーム】



■タイトル

「平常時から災害時へつなぐ近助
～独居高齢者を近所で近助～」

■対象：城北小学校区（首里）

スポンサーとなる企業や個人を募
り、助け合いを可視化しつつ、「近
所で近助」のポイントシステム(KKP)
をつくらう！というもの。顔が見え
る関係づくりや、世代間交流を目指
しています。

■Q&A

・個人情報取り扱い

→民生委員や包括支援センターと
の連携しつつ、近所で近助システム
を導入していく予定

・もしもの時の想定(第一発見者な
ど)

→通報、応急処置などの対応、自
主防災組織との連携に気をつけてい
きたい。

■チアーズコメント：金城さん

温かい企画、プレゼンだと思った。
歳を取ることにに対してネガティブに
なりがちな情勢のなか、すごく良い
企画だと思います。その裏付け調査
や分析なども良かった。

大名での一歩。ぜひ実践しながら広
げて行ってほしいです。ありがとう
ございました！

【チーム小祿】



■タイトル

「金城地区子供企画部
～楽しいことは任せとけ！～」

■対象：金城小学校区（小祿）

大人が子どものために企画をつくる
のではなく、子どもが主体となって
企画する「子供企画部」を立ち上げ
る。まずは、地元の専門学校生から
メンバーを募り、彼らに任せること
で、コミュニティができるきっかけ
作りをしよう！というもの。

■チアーズコメント：饒波さん

合宿で一緒に話したが、2人だけの
チームで良く頑張った。最初は心配
だったが、次第に協力者が増えてい
き、良い協働の形の1つだと思う。
ターゲットも明確。いつまでも見て
いたいプレゼンでした。“心の活性
化”など言葉や論理はすごく頭にスッ
と入ってきた。

【ごきげんヒュータンズ】



■タイトル

「わった一まちの自慢話(すぐりむん)」

■対象：壺屋小学校区（中心市街地）

インタビューで地域の自慢話を100
人分集めて上映会をし、各地域から
選出した3人の方のクロストークな
どのイベントを行うというもの。

地域間、世代間、エリア間をつなげ
るコミュニケーションを生み出すた
めの企画です。

■Q&A

・質問じゃなくて感想ですが、この
ネタほしい。すぐに実行したい！

チーム移りたいくらいです。校区対
抗でやりましょー！みんなでやりま
しょう！

■チアーズコメント：平中さん

思わずやりたくなる企画。すごく良
い企画だと思います。

小学校区という観点からも良い意味
で範囲を広げて調査、企画が出来て
いる。

インタビューなど続けていくと、人
や課題、企画などがさらに生まれ
てくる気がする。次なる展開に期待し
ています。

【チームあかばな】



■タイトル

「なんだか、行きたくなる場所
～宝さがしプロジェクト～」

■対象：上間小学校区（真和志）

誰でもいつでも気軽に集まれる場所
が欲しい、という思いから、公園の
活用に着目。

子どもと子育て親世代を中心とし、
公園で朝ごはん会を実施する他、長
田ゆいまるマップを活用しながら、
様々なイベントを展開します。

■Q&A

・すでに企画を実行に移していて、
驚いてます。さすがです。

質問ですが、近くに大学もあります
が、連携のイメージなどはあります
か？

→沖縄大学との連携もイメージし
ています。大学でも子どもの居場所
の取り組みをしているので連携した
いです。

■チアーズコメント：野原さん

最初から子どもの居場所として取り
組んでいたチーム。このチームが
もっともプロセスをうまく歩んでい
たんじゃないか。

最初は「繋がること」という大きな
テーマで、公園は危険なところとい
う認識からのスタートだったが、そ
こから公園を居場所に変えるという
視点の切り替えも出来ていた。私は
第5回の公開講座を受けてないが、
皆さんは「土の人」「風の人」「水
の人」みんなと連携として進ん
でほしい。

チームまちなかとしても皆さんとの
連携したいです。地域のお祭りなど
も出来てきた。一緒に情報交換しな
がら共に進んで行きましょう◎

【わくわく新都心】



■タイトル

「新都心公園避難村」

■対象：天久小学校区（新都心）

那覇市で行われている防災キャンプ
等のイベントに乗じて、楽しく防災
を学ぶためのさまざまなイベントを
打ち出していく予定。特に、新都心

公園で行われているイベントとのコ
ラボを実施していきたい。すでに
やってほしい企画についてのアン
ケートなども実施した。

■Q&A

・アンケート実施やペット防災の取
り組みなど、すごく良いと思いま
す。避難所閉鎖後やペットが入れな
い避難所がある中で、それをみんな
考える機会を作るのは良いと思う。

・炊き出しコンテストの具体的なイ
メージ教えてください。

→基本的には非常食を想定してい
る。行政が支給する予定のものなど
を活用したいと思っている。また、
季節によって食べたいもの違うはず
なので、季節ごとのアンケートも考
えたい。

■チアーズコメント：知念さん

“防災”というキーワードで取り組ん
だのは良かったと思う。ちゃっかり
してるチームだと思う。

新都心公園での防災キャンプでもア
ンケート取ったり、足でしっかり
データを稼いでる。それが企画に繋
がっている。新都心住民だけではなく、
外からの避難者も含んだ企画や
考えにしていきたい。

そして最後をかざるのは、那覇西地
域のチームWANGANです。

【チームWANGAN】



■タイトル

「いちやりば いちどうし 大作戦」

■対象：天妃小学校区（那覇西）

天妃小学校区は、外国人が通う学校
が3つあり、学生は600人で、地域人
口の約5%。クルーズ船で外国人観光
客が1週間に7500人来ている地域。

だが、住民は外国人についてよく知
らない状況がある。

危ないという漠然としたネガティブ
なイメージが多いが、拳がってくる
課題は外国人特有のものではなく日
本人にも当てはまる事も多く、偏見
や誤解が多いのではないかと考え
た。

この問題意識から、お互いを知る機
会を作るため、クイズ企画にした。
もうすでに第1回目を地域の学校で開
催予定！

■チアーズコメント：浦崎さん

現状と資源をしっかり客観的にみて
分析、課題設定できていると思う。

日本や沖縄は異文化や移民理解や体
制の整備が遅いイメージがある。そ
のなかで、このテーマ設定は、まち
づくりとしても良いと思います。

那覇市の良いモデルになれば良い
なと思う。

受講生のアクションプランは、チー
ムの個性があふれる発表ばかりでし
た。

それぞれの学びや成長を見つめてき
た、チアーズのみなさんも、コメン
トしながら、なんとなく目がうるう
る。皆さん、本当にお疲れ様でし
た！

最後に、チアリーダーの南さん、那
覇市の又吉課長より、全体に関する
講評をいただきました。

講評

チアリーダー 南さん



【近所でWAKUWAKU/首里チーム】

近所で近助、非常に分かりやすい
し、良い内容だった。高齢者の自尊
心や、やりがい、生きがいなど考慮

しながら進めてほしい。ポイントシステムは魅力的だが、予算や人の確保は大変。まずは一歩ずつが良い。協働の面白さは誰がどこで一気に前進するか分からないところ。是非多くの人巻き込んでほしい。

【チーム小祿】

最新機器でのプレゼン良かったです。星空観察など具体的なイメージができたプレゼンだった。巻き込みたい人をしっかりと捕まえて、企画を進めてほしい。企業や個人とのコミュニティ形成を頑張してほしい。

【ごきげんヒュータンズ】

発表慣れしてる方多かったですね。やりたい事を絞りきったのはすごいと思う。多世代の橋渡しは大変だが、地域コーディネーターや協働大使を巻き込んで取り組んでほしい。

【チームあかばな】

団結力を感じました！レディースの華やかな団結力。親世代と子どもをターゲットとした愛のある企画だと思いました。

リサーチ力と分析力、連携先が見えているのがすごい。どこと連携すべきかなど、地域資源との繋ぎ役としても期待します。集いやすさを意識して、周辺の学校とも意識を合わせることができると良いと思います。学校の内容とリンクすると教育としても良いと思う。

【わくわく新都心】

しっかり防災を意識している。新都心公園を観光客や地域の人が避難所として意識しているかと言えば、その認識はまだ薄いと思うので、そこにアプローチできそう。

しっかりアンケートを取り資源をうまく分析、リサーチしている。イベントとの連携案もすごく良いと思う！継続性も高まるし、すでに活動している地域としても嬉しいはず。期待している。

【チームWANGAN】

外国人への課題設定に納得した。実行力がすごい。交流から始めたいというのは良いと思う。交流はゴール

ではなくスタートなので、交流の先にある未来や地域の姿をみんなで楽しく考えてほしい。パートナーなども見つけ、継続性が担保できるよう、1,2年ではなく5年、10年の視点で取り組んでいてもらえたら嬉しい。

まちづくり協働推進課 又吉弘課長



皆さんが取り組む過程を見てきたので、楽しい事ばかりではなく、大変さはよく知っています。

その中で、本当に頑張っていた。お疲れ様でした。そしてどのチームも地域の生の声を反映しており、かつ実行性がある。行政との連携がイメージできる内容も多かった。

ぜひ、アクションプランの実現のために、今日が終わりではなく、今後とも関係行政と協力しながら取り組んでいただきたい。実現できることを期待し、楽しみにしています！！

ここまでの、最終成果発表会は終了。講座内容はすべて終わり、修了式に移ります。

修了式

まずは、成果発表会も全て見届けた、学長＝城間市長の挨拶です。

■ 学長挨拶

年々レベルアップしているのを実感しております。

こんな素晴らしい市民のみなさんがいてくれて、安心安堵という意味で肩の荷が下りた気分です。引き続き共に頑張っていきましょう。

じっくり、しっかり、ちゃっかりのコンセプトは、最初も良いなと感じましたが改めて良さを感じています。また、風の人、土の人、水の人

のありかたを、見事に皆さんは体現、実行していました。

協働大使としてもみなさんの活躍を期待しております。

点と点が繋がりあって線になる、そして織り成し面となり、最後は立体になると思います。

那覇市は2年後に市政100年になります。皆さんにも那覇市と関わってほしいと思います。一緒に那覇市をつくっていきましょう。

■ 修了書授与

出席日数を満たしたみなさんには、修了書が授与されました。

受講生の9割を超える28名の方が修了証を手に入れました。



■ 修了生代表挨拶

最後は修了生代表挨拶をチームあかばな（真和志）の伊佐さんからいただきました！

なんと、群読形式での代表挨拶。受講生の心の叫びを、正直に、そしてユーモラスに伝えていただきました！市長も思わずスタンディングオベーション！！



最後までみなさんの努力と、温かさのあふれるなは市民協働大学院でした。ありがとうございました！